

The Study Group 2008300/2A
on the Improvement
of HIV Testing
and Counseling Services
in Japan.

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

HIV検査相談機会の拡大と 質的充実に関する研究

平成20年度研究報告書



主任研究者
今井光信
(神奈川県衛生研究所)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業

HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究

平成 20 年度 研究報告書

研究代表者

今 井 光 信

(神奈川県衛生研究所)

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(研究分担者) 平成20年度

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
今井 光信	神奈川県衛生研究所	所長	253-0087	茅ヶ崎市下町屋1-3-1	0467-83-4400	0467-83-4457	imaim@d2.dion.ne.jp
加藤 真吾	慶應義塾大学 医学部 微生物学・免疫学教室	専任講師	160-8582	新宿区信濃町35	03-3353-1211 (61230)	03-5361-7658	skato@sc.itc.keio.ac.jp
川畑 拓也	大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課	主任研究員	537-0025	大阪市東成区中道1-3-69	06-6972-1321 (375)	06-6972-2393	kawahata@iph.pref.osaka.jp
木村 和子	金沢大学医薬保健研究域薬学系 国際保健薬学研究室	教授	920-1192	金沢市角間町 自然科学本館	076-234-4402	076-234-4402	kimurak@p.kanazawa-u.ac.jp
小島 弘敬	東京都南新宿検査・相談室	室長	151-0053	渋谷区代々木2-7-8 東京南新宿ビルディング3F	03-3377-8122	03-3377-0821	hiv-test@aurora.ocn.ne.jp
貞升 健志	東京都健康安全研究センター 微生物部	専門副参事	169-0073	新宿区百人町3-24-1	03-3363-3231	03-3363-3263	Kenji_Sadamasu@member.metro.tokyo.jp
佐野 貴子	神奈川県衛生研究所 微生物部	主任研究員	253-0087	茅ヶ崎市下町屋1-3-1	0467-83-4400	0467-83-4457	takawoo@hotmail.com
杉浦 互	(独)国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター	部長	461-0001	名古屋市中区三の丸4-1-1	052-952-1111	052-951-0664	wsugiura@nih.go.jp
立川 夏夫	横浜市立市民病院 感染症内科	部長	240-8555	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	045-331-1960	na01-tachikawa@city.yokohama.jp
玉城 英彦	北海道大学大学院医学研究科 国際保健医学分野	教授	060-8638	札幌市北区北15条西7丁目	011-706-5051	011-706-7374	tamashiro@med.hokudai.ac.jp
中瀬 克己	岡山市保健所	所長	700-8546	岡山市鹿田町1-1-1	086-803-1262	086-803-1758	katsumi_nakase@city.okayama.okayama.jp
長野 秀樹	北海道立衛生研究所	主任研究員	060-0819	札幌市北区北19条西12丁目	011-747-2764	011-736-9476	nagano@iph.pref.hokkaido.jp
日野 学	日本赤十字社 血液事業本部	副本部長	135-8521	江東区辰巳2-1-67	03-5534-7503	03-5534-3774	s-hino@bs.jrc.or.jp
松浦 基夫	特定非営利活動法人 CHARM	理事	530-0031	大阪市北区菅栄町10-19	06-6354-5901	06-6354-5902	office@charmjapan.com matsuura-m@sakai-hospital.jp
矢永由里子	(財)エイズ予防財団 研修研究部	課長	105-0001	千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階	03-5259-1811	03-5259-1812	yanaga@jfap.or.jp

HIV検査相談研究班事務局 <神奈川県衛生研究所 微生物部>

〒253-0087 茅ヶ崎市下町屋1-3-1 TEL: 0467-83-4400 FAX: 0467-83-4457

事務担当(内線2210): 小林寛子 (kensahan@m10.alpha-net.ne.jp)

／ 経理担当(内線2015): 田村 哲 (eiken.1540@pref.kanagawa.jp)

研究担当(内線2210, 2215): 近藤真規子 (macoco@bekkoame.ne.jp)

佐野貴子 (takawoo@hotmail.com) 須藤弘二 (phai@mail7.alpha-net.ne.jp)

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(地方衛生研究所)平成20年度

班員名	所属	職名	電話(内線)	FAX	所属	研究担当者	Eメール
長野 秀樹	北海道立衛生研究所	主任研究員	011-747-2764	011-736-9476	微生物部 ウイルス科	長野秀樹	nagano@iph.pref.hokkaido.jp
広島紀以子	仙台市衛生研究所	所長	022-236-7722 022-236-7737	022-236-8601	微生物課	勝見正道	fuk005620@city.sendai.jp
原 孝	茨城県衛生研究所	部長	029-241-7601	029-243-9550	微生物部	原 孝 増子京子	t.hara@pref.ibaraki.lg.jp
篠崎 邦子	千葉県衛生研究所	室長	043-266-6725	043-265-5544	ウイルス研究室	岡田峰幸 三瓶憲一	k.shnz4@mb.pref.chiba.jp
河橋 幸恵	埼玉県衛生研究所	ウイルス 担当部長	048-853-5034	048-840-1041	疫学科 ウイルス担当	篠原美千代 内田和江 島田慎一	a0183437@pref.saitama.lg.jp
貞升 健志	東京都健康安全研究センター 微生物部	専門副参事	03-3363-3231	03-3363-3263	微生物部 ウイルス研究科	新開敬行 長島真美	Kenji_Sadamasu@member.metro.tokyo.jp
今井 光信	神奈川県衛生研究所	所 長	0467-83-4400	0467-83-4457	微生物部	近藤真規子 佐野貴子 須藤弘二	imaim@d2.dion.ne.jp
宇宿 秀三	横浜市衛生研究所	技術吏員	045-754-9800	045-754-2210	検査研究課	野口有三 宇宿秀三	yu00-noguchi@city.yokohama.jp sh00-usuku@city.yokohama.jp
飯塚 郁夫	川崎市衛生研究所	技術職員	044-244-5481	044-246-2606	微生物担当	平山春香	35eiken@city.kawasaki.jp
水谷 均	山梨県衛生公害研究所	所長	055-253-6721	055-253-5637	微生物部	浅川洋美 三橋加世子	asakawa-thh@pref.yamanashi.lg.jp
皆川 洋子	愛知県衛生研究所	所 長	052-910-5604	052-913-3641	生物学部 ウイルス研究室	秦 眞美 田中正大	hiroko_minagawa@pref.aichi.lg.jp mami_hata@pref.aichi.lg.jp
岩治 勉	福井県衛生環境研究センター	所長	0776-54-5630	0776-54-6739	保健衛生部 ウイルス研究グループ	中村雅子	nakamuramasako@fklab.fukui.fukui.jp
川畑 拓也	大阪府立公衆衛生研究所 感染症部ウイルス課	主任研究員	06-6972-1321 (375)	06-6972-2393	感染症部 ウイルス課	森 治代 小島洋子	kawahata@iph.pref.osaka.jp
近平 雅嗣	兵庫県立健康環境 科学研究センター	感染症部長	078-511-6804	078-531-7080	感染症部	高井伝仕	Denshi_Takai01@pref.hyogo.lg.jp Masatsugu_Chikahira@pref.hyogo.lg.jp
伊藤 文明	広島市衛生研究所	専門員	082-277-6998	082-277-0410	生物科学部 ウイルス担当	伊藤文明 阿部勝彦 山本美和子	ei-seibutsu@city.hiroshima.jp
山下 育孝	愛媛県立衛生環境研究所	ウイルス科長	089-931-8757	089-947-1262	微生物試験室	山下育孝 大塚有加	yamashita-yasutaka@pref.ehime.jp
千々和勝己	福岡県保健環境研究所	保健科学部長 兼ウイルス課長	092-921-9945	092-928-1203	ウイルス課	千々和勝己 中山志幸	chijiwa@fihes.pref.fukuoka.jp

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(特別協力研究者) 平成20年度

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
高山 義浩	佐久総合病院総合診療科 厚生労働省健康局結核感染症課	医師	384-0301	長野県佐久市臼田197	0267-82-3131	0267-82-2992	hiro-t@umin.net
小池 宙	佐久総合病院 総合診療科	医師	384-0301	長野県佐久市臼田197	0267-82-3131	0267-82-2992	koike-h@umin.ac.jp
百瀬 俊也	日本赤十字社 血液事業本部	安全管理課長	135-8521	江東区辰巳2-1-67	03-5534-7503	03-5534-3774	momose@bsjrc.or.jp
本間 隆之	金沢大学医薬保健研究域	助教	920-1192	金沢市角間町金沢大学 自然科学一号館1B636	076-264-6286	076-264-6286	thomma@p.kanazawa-u.ac.jp
相楽 裕子	横浜市立市民病院 感染症内科	非常勤	240-8555	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961	045-331-1960	hsagara@msf.biglobe.ne.jp
岩室 紳也	(社)地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター	センター長	102-0093	千代田区平河町2-6-3 都道府県会館15F	03-5210-2921	03-5210-2924	shin.iwamuro@nifty.ne.jp
伊藤 章	国際医療福祉大学病院 臨床検査部	教授	329-2763	栃木県那須塩原市井口537-3	0287-39-3060	0287-39-3001	aito@iuhw.ac.jp
大林 民典	東京都立駒込病院 臨床検査科	部長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	03-5814-3366	tami@cick.jp
小泉 京子	江戸川区 健康部 健康サービス課 なぎさ健康サポートセンター	保健師	134-0085	江戸川区南葛西7-1-27	03-5675-2515	03-5675-2519	kyouko-koizumi@city.edogawa.tokyo.jp
清水 茂徳	ライフ・エイズ・プロジェクト	代表	100-8691	東京中央郵便局私書箱490号	03-5685-9716	03-5685-9703	shimizu8691@lap.jp
草田 央	ライフ・エイズ・プロジェクト	スタッフ	100-8691	東京中央郵便局私書箱490号	03-5685-9716	03-5685-9703	aids@t3.rim.or.jp
堀 成美	東京都立駒込病院 感染症科 国立感染症研究所FETP	研究員	162-8640	新宿区戸山1-23-1 国立感染症研究所	03-5285-1111	03-5285-1233	hnarumi@nih.go.jp
潮見重毅	栃木県県南健康福祉センター	所長	323-0811	小山市犬塚3-1-1	0285-22-0302	0285-22-8403	shiomis01@pref.tochigi.jp
右田麻里子	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター	栄サンサンサイト 事務局代表	466-0833	名古屋市昭和区隼人町7-16 セントカーサ50-B	052-831-2290	052-831-2268	chubu@npo-jhc.com
今井 敏幸	財団法人エイズ予防財団 エイズ対策 戦略研究推進室	流動研究員	105-0001	千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5階	03-5259-1811	03-5259-1812	imai@jfap.or.jp
狩野千草	新宿区牛込保健センター	保健師	162-6231	新宿区弁天町50番地	03-3260-6231	03-3260-6223	chigusa.kano@city.shinjuku.tokyo.jp
川添 昌之	特定非営利活動法人 HIVと人権・情報センター	理事 なんばサンサンサ イト事務局責任者	651-0088	神戸市中央区小野柄通6-1-22 プチメゾン小川 201号	078-222-3001	078-222-3001	osaka-vct@npo-jhc.com
高田知恵子	秋田大学教育文化学部心理学研究室	教授	010-8502	秋田市手形学園町1-1	018-889-2537	018-889-2537	takata@ed.akita-u.ac.jp

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
塚田 三夫	栃木県保健福祉部健康増進課	課長補佐	320-8501	栃木県宇都宮市塙田1-1-20 保健福祉部健康増進課	028-623-3096	028-623-3920	tsukadam01@pref.tochigi.lg.jp
岳中 美江	特定非営利活動法人 CHARM エイズ予防財団	理事 流動研究員	530-0031	大阪市北区菅栄町10-19	06-6354-5901	06-6354-5902	office@charmjapan.com
辻麻理子	国立病院機構九州医療センター 感染症対策室	臨床心理士	810-8563	福岡市中央区地行浜1-8-1	092-852-0700	092-847-8801	cptsujimari@kyumed.jp
星野慎二	かながわレインボーセンターSHIP (横浜Cruiseネットワーク)	代表	221-0834	横浜市神奈川区台町14-2 ピレア台町2F	045-306-6769	045-306-6769	shinji@y-cru.com
市川 誠一	名古屋市立大学大学院看護学研究科	教授	467-8601	名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1	052-853-8089	052-852-4641	yaichisei@yahoo.co.jp
浦尾 充子	千葉大学附属病院カウンセリング室	カウンセラー	260-0856	千葉市中央区亥鼻1-8-1	043-226-2383	043-226-2295	urao@pbh.med.kyoto-u.ac.jp
鬼塚 直樹	カリフォルニア大学サンフランシスコ校 エイズ予防研究センター	専門官	94105	50 Beale Street, Suite 1200, San Francisco, CA USA	415-597-9375	415-597-8299	nonizuka@webjapan.us
橋 とも子	国立保健医療科学院 研究情報センター	情報デザイン室長 (兼)研究情報セン ター図書館サービ ス室長事務取扱	351-0197	埼玉県和光市南2-3-6	048-458-6206	048-469-0326	ttomoko@niph.go.jp
澤畑 一樹	(株)三菱化学メディエンス 学術部	主事	174-8555	板橋区志村3丁目30番1号	03-5994-2196	03-5994-2931	sawahata-o@mui.biglobe.ne.jp
榎 佐和子	(株)エスアールエル 感染免疫部	部長	192-8535	八王子市小宮町51	0426-28-4083	0426-48-4041	enoki@srl.srl-inc.co.jp

厚生労働科学研究費補助金 HIV検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究班 班員名簿(特別協力研究者) 平成20年度

HIV即日検査協カクリニック

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
赤枝 恒雄	赤枝六本木診療所	院長	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	03-3403-4680	spin-dr@fc4.so-net.ne.jp
井戸田 一朗	しらかば診療所	院長	162-0065	新宿区住吉町8-28 B・STEPビル2F	03-5919-3127	03-5919-3137	info@shirakaba-clinic.jp
岩澤 晶彦	岩澤クリニック	院長	060-0061	札幌市中央区南1条西16丁目 レーベンビル2F	011-613-6000	011-613-3000	iwasawa@mb.snowman.ne.jp
上村 哲	上村病院	院長	904-0021	沖縄県沖縄市胡屋1-6-2	098-938-1035	098-939-4206	
江畑 貴文	文化村通りクリニック	院長	150-0043	渋谷区道玄坂2-25-10 小田原屋ビル4F	03-5459-4070	03-3780-7702	info@bunkamura.org
大國 剛	大國診療所	院長	530-0057	大阪市北区曽根崎2-5-24 石見ビル3F	06-6312-8423	06-6312-9440	
古林 敬一	大國診療所	医師	530-0057	大阪市北区曽根崎2-5-24 石見ビル3F	06-6312-8423	06-6312-9440	
大里 和久	大里クリニック	院長	563-0027	池田市上池田1-8-13	0727-53-2553	0727-53-2553	docosato@hotmail.com
大原 宏樹	新宿山の手クリニック	院長	160-0021	新宿区歌舞伎町2-45-1 第5ライデンビル5F	0120-156-119	03-5291-1578	info@y-cn.jp
尾上 泰彦	宮本町中央診療所	院長	210-0004	川崎市川崎区宮本町4-1	044-211-6581	044-211-1972	onoye@dd.ij4u.or.jp
尾関 全彦	尾関皮膚泌尿器科	院長	135-0048	東京都江東区門前仲町2-6-2 幸栄ビル3階	03-3630-1241	03-3630-1241	
上村 茂仁	ウィメンズクリニック・かみむら	院長	700-0901	岡山市本町4-18 コア本町ビル3F	086-803-5338	086-803-5339	kamimura@kitty.jp
小林 米幸	小林国際クリニック	院長	242-0005	大和市西鶴間3-5-6-110	046-263-1380	046-263-0919	fwix7324@mb.infoweb.ne.jp
鷺山 和幸	さぎやま泌尿器クリニック	院長	810-0001	福岡市中央区天神1丁目3-38 天神121ビル3F	092-720-3077	092-720-3078	uro@sagiyama.net
島尾 忠男	水道橋三崎町クリニック	院長	101-0061	千代田区三崎町1-3-12 水道橋ビル5F	03-5259-1821	03-5259-1823	misakichoc@jfap.or.jp
白川 裕一	八重洲山の手クリニック	院長	103-0027	中央区日本橋3-4-12 フロンティア八重洲ビル4F	0120-156-119	03-5205-3688	yaesu@y-cn.jp
立山 啓悦	ひろクリニック	院長	150-0043	渋谷区道玄坂2-28-3 クラトスビル4F	03-5458-1860	03-5458-1860	hiro196779@yahoo.co.jp

班員名	所属	職名	〒	住所	電話(内線)	FAX	Eメール
谷口 恭	太融寺町谷口医院 (旧すてらめいとクリニック)	院長	530-0051	大阪市北区太融寺町4-20 すてらめいとビル4階	06-6364-4177	06-6364-4188	cyc02414@nifty.com
多和田俊保	たわだ泌尿器科	院長	460-0011	名古屋市中区大須3丁目14-43 大須第2アメ横ビル3F	052-238-3555	052-238-3536	urotawada35@lime.ocn.ne.jp
西大條文一	丹羽クリニック	非常勤医師	169-0074	新宿区北新宿1-8-1 中島ビル 2F	03-3368-7587	03-3368-7455	info@dojinsai.com
西原 仁	関内マリンクリニック	院長	231-0017	横浜市中区港町2-9-4 関内幸和ビル9F	045-222-6162	045-222-6225	info@kannai-marine.com
根岸昌功	ねぎし内科診療所	院長	160-0004	新宿区四谷3-9 光明堂ビル5F	03-5369-2041	03-5359-2041	mneg2885@over.ocn.ne.jp
保科 真二	保科医院	院長	604-8032	京都市中京区西木屋町六角 下ガル山崎町258	075-221-4775	075-221-4787	info@hoshina-iin.com
山口 眞澄	池袋山の手クリニック	院長	170-0013	東京都豊島区東池袋1-32-2 小川ビル4階	0120-156-119	03-3986-2977	ikebukuro@y-cn.jp
山中 晃	新宿東口クリニック	院長	160-0022	新宿区新宿3-17-5 カワセビル7F	03-5366-389 090-3231-4484		kouy@ff.ijj4u.or.jp
吉尾 弘	吉尾医院	院長	064-0808	札幌市中央区南8条西3丁目1-7	011-511-5564	011-513-1782	

平成 20 年 度 研 究 報 告 書

目 次

I. 総括研究報告

HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究.....	1
—総括研究報告（平成 20 年度）—	
今井 光信 (神奈川県衛生研究所)	

II. 分担研究報告

1. ホームページ「HIV 検査・相談マップ」を用いた HIV 検査相談機関の情報提供とメディア等の広報効果のモニタリング.....	45
佐野（嶋）貴子 他 (神奈川県衛生研究所)	
2. HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査（H20 年）.....	51
今井 光信 他 (神奈川県衛生研究所)	
3. 特設検査相談施設（南新宿検査・相談室）の受検者における HIV と STD に関する研究.....	72
小島 弘敬 他 (東京都南新宿検査・相談室)	
4. MSM を限定とした HIV/STD 検査場の結果報告.....	81
星野 慎二 (かながわレインボーセンターSHIP・横浜 Cruise ネットワーク)	
5. HIV 検査機関における即日検査の実施状況およびその効果.....	86
佐野（嶋）貴子 他 (神奈川県衛生研究所)	

6. 保健所等 HIV 検査機関における HIV-1 NAT スクリーニング検査の試験的導入	92
佐野（嶋）貴子 他（神奈川県衛生研究所）	
7. 一般病院での HIV 抗体検査の推進に関する研究	98
立川 夏夫 他（横浜州市市民病院）	
8. HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査	101
須藤 弘二 他（神奈川県衛生研究所・慶應義塾大学）	
9. 献血者への働きかけによる HIV 検査機会の拡大（平成 20 年度）	110
日野 学 他（日本赤十字社）	
10. 個人輸入 HIV 自己検査キットの保健衛生の調査研究	116
木村 和子 他（金沢大学大学院）	
11. HIV 検査とエイズの知識・偏見 ～北海道・市町村議会議員の調査から～	130
玉城 英彦 他（北海道大学大学院）	
12. 検査相談 研修ガイドラインの作成と普及について 実践基礎編（地域密着型の研修）の作成	138
矢永 由里子 他（(財)エイズ予防財団）	
13. NPO による HIV 検査相談体制と研修体制	144
松浦 基夫 他（特定非営利活動法人 CHARM）	
14. 保健所における検査相談体制に関する研究	148
中瀬 克己 他（岡山市保健所）	
15. 北海道における HIV 即日検査について	153
長野 秀樹 他（北海道立衛生研究所）	

16. 東京都の HIV 検査体制と検査結果の解析	159
貞升 健志 他 (東京都健康安全研究センター)	
17. 愛知県における HIV 検査結果の解析	165
皆川 洋子 他 (愛知県衛生研究所)	
18. 大阪府における公的 HIV 検査の現状解析、STI 関連診療所における検査相談と疫学調査、献血における大阪と東京の陽性率に関する考察、大阪府内において HIV・AIDS 啓発キャンペーンの及ぼした影響	168
川畑 拓也 他 (大阪府立公衆衛生研究所)	
19. 福岡県における HIV 検査体制と検査結果の解析	182
千々和 勝己 他 (福岡県保健環境研究所)	
20. 汎用リアルタイム PCR 装置を用いた HIV-1 RNA 定量法の開発	188
加藤 真吾 他 (慶應義塾大学)	
21. 薬剤耐性変異の解析法の開発・改良・技術研修に関する研究： 薬剤耐性検査の実用化と衛生研究所等への技術移管	198
杉浦 互 (国立感染症研究所)	

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表	203
----------------	-----

I. 総括研究報告

HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究

研究代表者 今井光信

(神奈川県衛生研究所)

総括研究報告

目的

本研究班は、保健所や医療機関における HIV 検査・相談の機会を活用して、HIV 感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計るため、(1) HIV 検査・相談機会の拡大に関する研究、(2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究、(3) HIV 検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究等、3 課題の研究を行った。

(研究分担者)

加藤真吾	(慶応義塾大学医学部)	川畑拓也	(大阪府立公衆衛生研究所)
木村和子	(金沢大学医薬保健研究域薬学系)	小島弘敬	(東京都南新宿検査・相談室)
貞升健志	(東京都健康安全研究センター)	佐野貴子	(神奈川県衛生研究所)
杉浦 互	(国立感染症研究所エイズ研究センター)	立川夏夫	(横浜市立市民病院)
玉城英彦	(北海道大学大学院)	中瀬克己	(岡山市保健所)
長野秀樹	(北海道立衛生研究所)	日野 学	(日本赤十字社血液事業本部)
松浦基夫	(特定非営利活動法人 CHARM)	矢永由里子	(財) エイズ予防財団)

(協力研究者)

高山義浩	(佐久総合病院)	相楽裕子	(横浜市立市民病院)
小池 宙	(佐久総合病院)	伊藤 章	(国際医療福祉大学病院)
岩室紳也	(社) 地域医療振興協会)	百瀬俊也	(日本赤十字社血液事業本部)
大林民典	(東京都立駒込病院)	清水茂徳	(ライフ・エイズ・プロジェクト)
小泉京子	(江戸川区健康部)	草田 央	(ライフ・エイズ・プロジェクト)
堀 成美	(東京都立駒込病院)	今井敏幸	(財) エイズ予防財団)
潮見重毅	(栃木県南健康福祉センター)	狩野千草	(新宿区牛込保健センター)
辻麻理子	(国立病院機構九州医療センター)	塚田三夫	(栃木県保健福祉部健康増進課)
岳中美江	(特定非営利活動法人 CHARM)	星野慎二	(かながわレインボーセンター SHIP)
右田麻里子	(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター)	浦尾充子	(千葉大学付属病院)
川添昌之	(特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター)	橋とも子	(国立保健医療科学院)
市川誠一	(名古屋市立大学大学院)	高田知恵子	(秋田大学教育文化学部)
鬼塚直樹	(カリフォルニア大学)	榎佐和子	((株) エスアールエル)
本間隆之	(金沢大学医薬保健研究域)	赤枝恒雄	(赤枝六本木診療所)
澤畑一樹	((株) 三菱化学メディエンス)	岩澤晶彦	(岩澤クリニック)
井戸田一朗	(しらかば診療所)	江畑貴文	(文化村通りクリニック)
上村 哲	(上村病院)	大里和久	(大里クリニック)
大國 剛	(大國診療所)	尾上泰彦	(宮本町中央診療所)
大原宏樹	(新宿山の手クリニック)	上村茂仁	(ウイメンズクリニック・かみむら)
尾関全彦	(尾関皮膚泌尿器科)	小林米幸	(小林国際クリニック)
古林敬一	(大國診療所)	島尾忠男	(水道橋三崎町クリニック)
鷺山和幸	(さぎやま泌尿器クリニック)	立山啓悦	(ひろクリニック)
白川裕一	(八重洲山の手クリニック)	多和田俊保	(たわだ泌尿器科)
谷口 恭	(太融寺町谷口病院)	西原 仁	(関内マリクリニック)
西大條文一	(丹羽クリニック)	保科真二	(保科医院)
根岸昌功	(ねぎし内科診療所)	山中 晃	(新宿東口クリニック)
山口真澄	(池袋山の手クリニック)	広島紀以子	(仙台市衛生研究所)
吉尾 弘	(吉尾医院)	篠崎邦子	(千葉県衛生研究所)
原 孝	(茨城県衛生研究所)	宇宿秀三	(横浜市衛生研究所)
河橋幸恵	(埼玉県衛生研究所)	水谷 均	(山梨県衛生公害研究所)
飯塚郁夫	(川崎市衛生研究所)	岩治 勉	(福井県衛生環境研究センター)
皆川洋子	(愛知県衛生研究所)	伊藤文明	(広島市衛生研究所)
近平雅嗣	(兵庫県立健康環境科学研究所)	千々和勝己	(福岡県保健環境研究所)
山下育孝	(愛媛県立衛生環境研究所)		
近藤真規子	(神奈川県衛生研究所)		

研究要旨

本研究班は、保健所や医療機関における HIV 検査・相談の機会を活用して、HIV 感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計るため、(1) HIV 検査・相談機会の拡大に関する研究、(2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究、(3) HIV 検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究の 3 課題に関して下記の研究を行った。

(1) HIV検査・相談の機会の拡大に関する研究

- ① 「HIV検査・相談マップ」による情報提供とその活用に関する研究
「HIV検査・相談マップ」(パソコンと携帯)により最新のHIV検査情報を提供とアクセス状況からの広報効果や受検者のニーズの解析を行った。
- ② 保健所等HIV無料検査に関する全国調査(2008年)
保健所および特設無料検査施設で実施されているHIV検査相談の現状を把握し、その充実を計るため昨年に引き続きアンケート調査を行い、結果を解析した。
- ③ 特設検査施設の受検者におけるHIVとSTDとの研究
東京都南新宿HIV検査相談室においてHIV、梅毒、クラミジア、B型肝炎等のSTD検査を行い、MSM、非MSM男性、女性等、各群での感染状況の検討を行った。
- ④ MSMを対象としたレインボーセンターSHIPにおけるSTD検査の支援と解析
2007年9月から横浜駅西口に解説したMSMを対象とする検査相談事業において、HIV、梅毒、HBs抗原の迅速検査の支援を行い結果を解析した。
- ⑤ クリニック等における即日検査の普及とその効果のモニタリング
HIV即日検査を実施する研究班の協力クリニック(有料25ヶ所)をHPで紹介し、検査相談の質の向上の支援を行い、受検者動向の解析を行った。
- ⑥ 保健所等HIV検査相談機関におけるHIV-1NATスクリーニング検査の試験的導入
- ⑦ 一般病院におけるHIV検査の推進に関する研究
一般病院においてHIV検査を普及し拡大するためには、HIV検査で陽性と分かった患者への対応が重要であり、その際必要な説明項目の検討と検証を行った。
- ⑧ HIV 郵送検査の実態調査とその検査精度に関する研究
アンケートによる実態調査を行うと共に、残余検体を用いた再検査により、検査精度の検証を行った。
- ⑨ 献血者への働きかけによる HIV 検査相談機会の拡大に関する研究
- ⑩ 大阪府と東京都の献血における HIV 陽性率の違いに与える影響因子に関する研究
- ⑪ 個人輸入の自己検査キットの保健衛生等に関する調査研究
Web上の英語サイトから入手可能な自己診断キットを入手し、その実態を調査した。
- ⑫ HIV 検査の普及のための基礎調査—北海道市町村議会議員へのアンケート調査—

(2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究

- ① HIV 検査・相談の研修ガイドラインの作成と普及
実践基礎編のガイドライン(プログラム、資料を含む)を作成した。
- ② NPOによるHIV検査相談体制と研修体制
スタッフ研修のシステム化に向け、新規人材開発・育成のための研修プログラムとスタッフ評価プログラムの作成を行った。
- ③ HIV 検査陽性者を発端としたパートナー検診に関する研究
- ④ 各地域における HIV 検査相談の取り組み

(3) 検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究

- ① 汎用PCR装置を用いたHIV-1RNA定量法の開発
専用の高額機器を必要とせず、汎用の装置で測定可能なHIV-1RNA定量法の開発し、検体量が0.5mlと少なく、性能は市販キットと同程度であることを確認できた。
- ② HIV抗体量(PA値とBED値)から推定した感染時期の解析と集団における比較凝集法(PA)とBED法の測定値から感染時期の推定を行い集団間の比較を行った。
- ③ HIV検査技術の技術研修と普及

A. 研究目的

本研究班は、保健所や医療機関における HIV 検査相談の機会を活用して、HIV 感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計るため、(1) HIV 検査相談機会の拡大に関する研究、(2) 相談・カウンセリングの質的向上に関する研究、(3) HIV 検査技術の開発・改善・導入・普及等に関する研究、等の 3 課題の研究を行った。(図 1)

B. 研究方法および結果

(1) HIV 検査相談の機会の拡大に関する研究

①ホームページ「HIV検査・相談マップ」を用いたHIV検査相談機関の情報提供とメディア等の影響のモニタリングに関する研究 (図2-6)

当研究班では、保健所等検査機関における HIV検査情報の提供やHIV検査に関する知識の普及を目的としたホームページ「HIV検査・相談マップ」(<http://www.hivkensa.com>)をPC版サイトおよび携帯電話版サイトに設置している。

PC版サイトは2001年9月に開設し、年々アクセス数は増加傾向にあったが、2008年は年間アクセス数87万件と、2007年とほぼ同じアクセス数であった。2008年12月末における総アクセス数は480万件に達しているが、更なるホームページ掲載情報の充実について検討したい。携帯電話版サイトの2008年の年間アクセス数は56万件と前年度比1.4倍の増加となっており、2008年12月末までの総アクセス数は155万件と、順調にアクセス数を伸ばしている。近年の携帯端末ユーザーの増加傾向が伺え、携帯電話版サイトも非常に有効に機能していることが分かった。

PC版のアクセス数では、2008年1月の血液事業部会での献血におけるHIV陽性者が102名に上ったとの報道、2008年8月のエイズ動向委員会の報道において、アクセス数が1日で20,000件に達し、また、一日平均アクセス数の2倍(約4800件)を超えた日が9日あった。HIVに関す

るメディア等のHIV報道が受け取り側にどのようなインパクトや効果を与えたかを、HIV検査への関心の観点から、モニタリングできるサイトとしても有効であることが分かった。

地域別のアクセス数を見たところ、東京のアクセス数は大阪と比べ2倍以上の差があり、また、大阪の検査機関全体のアクセス数は東京に次いで多かったが、保健所検査へのアクセス数は神奈川よりも少なかった。また、愛知のアクセス数も全体的に少なかった。アクセス数は利便性の高い保健所等無料検査の施設数に反映されていると思われる。

保健所等無料検査施設の機能・利便性の向上(夜間、土日、即日検査)がさらに進むことによりアクセス数も増加し、さらなる受検者増に繋がると思われる。

(詳細は分担研究報告ホームページ「HIV検査・相談マップ」を用いたHIV検査相談機関の情報提供とメディア等の広報効果のモニタリングに関する研究 佐野貴子 他 参照)

②HIV検査相談に関する全国保健所等アンケート調査 (図7-15)

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、その充実を計るため、全国の全保健所等(保健所とその支所等)を対象とした HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を昨年に引き続き実施した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、対象とした 593 箇所の施設(保健所及びその支所等)の 534 (90%) 施設から回答を得ることができた。

アンケート結果では、平成 20 年の 1 年間に、回答の得られた 534 施設で、128,249 件の HIV 検査が実施され、280 例(0.22%)が陽性であった。この 280 例の陽性例の中で、259 例(93%)が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、その中の 208 例(74%)については、その後医療機関に受診していることが分かった。また、感染症法の届け出に関しては、206(74%)が、保健所から

直接、報告されていた。

即日検査の実施状況に関しては、平成 19 年に即日検査を実施した保健所は 313 施設 (59%) と保健所等の HIV 検査相談における即日検査は、普及が進み定着しつつあることがわかった。また、即日検査や休日夜間等の利便性の高い検査相談を提供している保健所が全体の 75% に達することも分かった。

なお、HIV 検査相談の結果返しに関しては、本年度も、HIV の結果返しにおいて 1 件、クラミジアの結果返しにおいて 1 件、一旦は誤った結果が伝えられる事故があったことが分かった。今後とも採血から結果返しまで間違いのない結果返しができるようマニュアルの整備と細心の注意が必要なことが再認識された。

(詳細は分担研究報告「HIV検査相談に関する全国保健所アンケート調査 (H20年度) 今井光信 他 参照)

③特設検査施設の受検者におけるHIVとSTIとの研究 (図16-18)

東京都南新宿検査・相談室におけるHIV陽性率は、男性 (MSM) では5.7%、男性 (非MSM) では0.07%、女性では0.05%とMSMにおける陽性率が高かった。また、HIV検査キャンペーンの実施される6月とエイズキャンペーンの行われる12月には電話予約が激増し、女性と非MSMの男性受検者が増加することもあり、HIV陽性者が減少する傾向がみられた。(詳細は分担研究報告「特別検査施設 (南新宿検査相談室) の受検者についてのHIVとSTDとの関連」小島弘敬 他 参照)

④MSMを対象としたレインボーセンターSHIPにおけるSTD検査の支援と解析(図19-21)

MSMを対象とする検査相談事業 (SHIP) において、HIVと梅毒、HBs抗原の迅速検査の支援と結果の解析を行った。(詳細は分担研究報告「かながわレインボーセンターSHIPにおけるSTD検査」星野慎二 他 参照)

⑤クリニック等における即日検査の普及と

その効果のモニタリング (図22-23)

2008年における25箇所の民間クリニックでの即日検査数の合計は22,261件、確認検査数208例、陽性数は104件(陽性率0.5%)で、前年に比べ検査数・陽性数ともに増加した(図2)。偽陽性数は104例(偽陽性率0.5%)であった。陽性率は即日検査を開始した2001年からほぼ同割合で推移していた。陽性104例の属性は、男性日本国籍100例、男性外国籍4例、女性は0例であった。

これら協力クリニックにおけるHIV即日検査は有料にもかかわらず多くの受検者が検査を受けており、検査希望者にとって、検査を受けやすい機関の一つとして評価されていることから、今後もこれら協力クリニックとの連携を強化するとともにその受検者動向のモニタリングを継続して行くことが重要と思われる。

(詳細は分担研究報告「HIV検査機関における即日検査の実施状況およびその効果」佐野貴子 他 参照)

⑥HIV 保健所 HIV 検査相談機関におけるHIV-INAT スクリーニング検査の試験的導入 (図24-25)

研究班では、HIV感染者の早期発見とHIV検査希望者の献血へのマグネット効果の抑制のため、保健所等検査機関の一部においてHIVスクリーニング検査に試験的にNATを導入してきた。NATスクリーニング検査はHIV抗体検査が陰性であった検体をプールし遠心濃縮して1検体とする「プール遠心濃縮法」を行い、その検体にHIV-1 RT-PCR法を施行した。RT-PCR法が2008年4月より、これまでのアンプリコアHIV-1モニターVer. 1.5法からコバスタqMan HIV-1「オート」法へ切り替えられるのに伴い、プール遠心濃縮法の再検討を行ったところ、新法でも再現性良く測定できることが分かった。

これまでに抗体検査陰性例のほぼ全例を検査対象としている機関において51,559件の検

査を行ったところ、NAT陽性が10例判明した（陽性率0.019%）。特に、無料検査機関である川崎市日曜検査では10437件中2例が陽性（陽性率0.019%）、大阪の定点調査医療機関5ヶ所では21754件中8例が陽性（陽性率0.037%）となり、HIV感染の早期検出に非常に有効であった。

NATスクリーニング検査は、HIV感染の早期検出のみならず、感染機会から早い時期の感染不安者へも対応が可能であり、献血NATへのマグネット効果の抑止も期待され、HIV検査体制の選択肢の一つとして有用と考える。

⑦一般病院におけるHIV検査の推進に関する研究

HIV検査機会の普及・拡大のため、医療機関の果たし得る役割は非常に大きいと考えられるが、その一方で一般医療機関におけるHIV検査で陽性と分かった際に十分な説明がなされないため問題となるケースも多く報告されている。このため、陽性と分かった患者に医療者が最小限伝えなければならない項目の検討・整理を行い、その妥当性の検証を行った。（詳細は分担研究報告「一般病院においてHIV検査を推進するための研究」立川夏夫 参照）

⑧HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査（図 26-28）

HIV 郵送検査について現状を把握するために、昨年度に引き続いて郵送検査会社8社に対しアンケート調査を行い、取扱状況や検査実施状況に関する実態調査を行った。また郵送検査会社のスクリーニング検査陽性検体を引き続き再検査することにより検査精度調査を行った。

アンケートの結果、2008年の年間郵送検査総数は50,672件であり、スクリーニング検査陽性数は234例であった。また今回の検査精度調査において、スクリーニング検査陽性検体17例をPA法とWB法で再検査した結果、陽性14例、陰性1例、判定保留2例であった。

（詳細は分担研究報告「HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査」須藤弘二 他参照）

⑨献血者への働きかけによる HIV 検査相談機会の拡大に関する研究（図 29-31）

献血者群における年次別 HIV 陽性者数は、検査開始以来、年々増加し、問診・本人確認の強化等を計った、2005年に一旦減少したがその後も増え続けており、特に関西地域での増加が目立っている。このため、日赤では、献血者個々に手渡すパンフレットに加え、ポスターやマスクミ等を利用し、HIV 検査が必要な人は保健所等の HIV 検査相談を利用するよう呼びかけを強化した。

（詳細は分担研究報告「献血者への働きかけによる HIV 検査相談機会の拡大」日野学 他参照）

⑩大阪府と東京都の献血における HIV 陽性率の違いに与える影響因子の考察

ここ数年、大阪府内の献血における HIV 陽性率が東京都内より高いことが問題となっているため、その影響因子・原因等について検討し考察した結果、HIV 感染の拡大とマグネット効果の両面の影響が示唆された。（詳細は分担研究報告「大阪府における HIV 検査相談の現状解析」川畑拓也 他 参照）

⑪個人輸入の自己検査キットの保健衛生の調査研究（図 32）

本年度は、HIV 自己検査キットの個人輸入を英語サイトから試み、その流通実態と保健衛生上の問題点を明らかにした。本邦で未承認の検査キットも輸入代行業者や代理店等から直接容易に入手できたが、説明不足等から誤使用の危険が高く、また、偽造品の混入、製品の品質保証の欠如等、問題点が多く、一般人の入手・使用は控えるべきであることが明らかとなった。（詳細は分担研究報告「個人輸入の自己検査キットの保健衛生の調査研究」木村和子 他 参照）

⑫HIV 検査の普及のための基礎調査（図 33）

HIV 検査の普及に関する基礎資料を得ることを目的に、北海道の議会議員全員を対象として、HIV、HIV 検査とエイズに関するアンケート調査を実施した。エイズの個人および社会への危険性を認識している割合は 60%、87%と高かったが、自分が HIV 検査を受けようと思うとの答えは 15%と低かった。

(詳細は分担研究報告「HIV 検査の普及のための基礎調査」 玉城英彦 他 参照)

(2) HIV 検査相談の質的充実に関する研究

①検査・相談の研修ガイドラインの作成と普及に関する研究 (図 34-35)

本年度は、昨年度作製した基本編の上級編となる実践基礎編の作成を行った。検査相談の担当者が本編を受講することで検査相談の際の対応のポイントが明確となるよう、スライドと資料を利用したグループワーク用カリキュラムを作成した。

(詳細は分担研究報告「HIV 検査相談の担当者を対象とした研修ガイドラインの作成」 矢永由里子 他 参照)

②NPO (CHARM) による HIV 検査相談体制と研修体制

NPO (CHARM) において蓄積されてきた、人材育成や HIV 検査相談の運営方法等について、手順の再検討を実施するとともにその文書化を行った。(詳細は分担研究報告「NPO による HIV 検査相談体制と研修体制」 松浦基夫 他 参照)

③HIV 検査陽性者を発端としたパートナー検診に関する研究

HIV 検査陽性者を発端としたパートナー検診に関してアジア各国の状況を担当者から調査した。また、日本における現状と今後の課題等についてエイズ学会の場で、保健所や医療機関の関係者で議論し、パートナー検診を進める上での課題を整理した。(詳細は分担研究報告「保健所における HIV 検査相談体制に関する研究」 中瀬克己 他 参照)

④各地域における HIV 検査相談の取り組み (図 36-45)

北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県における HIV 検査相談への取り組みについて各地域においてそれぞれの地域特性を生かした研究を行った。(詳細は下記の各分担研究報告を参照。 分担研究報告「北海道における HIV 即日検査について」 長野秀樹他、「東京都の HIV 検査体制と 2008 年検査結果の解析」 貞升健志他、「埼玉県における HIV 検査体制と受検状況について」 菊池好則 「愛知県における HIV 検査体制の解析」 皆川洋子他、「大阪府における公的 HIV 検査の現状解析、STI 関連診療所における検査相談と疫学調査、献血における大阪と東京の陽性率に関する考察、大阪府内において HIV/AIDS 啓発キャンペーンの及ぼした影響」 川畑拓也他、「福岡県における HIV 検査体制と検査結果の解析」 千々和克己他)

(3) HIV 検査の質的充実に関する研究

①汎用 PCR 装置を用いた HIV-1 RNA 定量法の開発 (図 46-48)

血中 HIV-1 RNA 定量には、従来アンプリコア HIV-1 モニター (アンプリコア法) が用いられていたが、現在リアルタイム PCR を原理とするコバス TaqMan 法に置き換わりつつあり、アンプリコア法は 2009 年末には販売中止予定である。コバス TaqMan 法は新たに高価な専用機器を購入する必要があり、1 回の測定に約 1.0 ml の血漿を用いるため、専用機器の購入が困難な地方衛生研究所等の施設や少量の検体しか利用できない状況では RNA 定量の実施が困難になる。そこで、一般的リアルタイム PCR 装置でも測定可能で、必要検体量が 500 μl 以下、測定性能はコバス TaqMan 法と同程度の独自の HIV-1 RNA 定量法 (KK-TaqMan 法) の開発を行った。検討の結果、開発した HIV-1 RNA 定量法 (KK-TaqMan 法) 患者血漿 45 検体の測定値は、コバス TaqMan 法での測定値と良好な相関を示し、再現性、精度も同等で、今後の活用が期待される。

(詳細は分担研報告「汎用リアルタイム PCR 装置を用いた HIV-1RNA 定量法の開発」加藤真吾 参照)

②HIV 抗体量 (PA 価と BED 価) から推定した感染時期の解析と各集団における比較(図 49-50)

凝集法 (PA) と BED 法の測定値から感染時期を推定した結果、PA 法で 1000 倍未満 (感染後 2-3 月以内) が、保健所、クリニック、献血等での HIV 検査陽性者の 4%-12% と少なからず存在した。また、BED 値 0.8 以下 (感染後 5-6 ヶ月以内) が、保健所や献血での HIV 検査陽性者のほぼ 40% を占め、医療機関では 25% とその割合がやや低いことが分かった。

③HIV 検査技術の技術研修と普及

名古屋医療センターにおいて、全国の衛生研究所等において HIV 検査を担当する技術者を対象に、HIV 薬剤耐性や HIV-1、HIV-2 の検査法に関する技術講習会を開催し、HIV 検査技術の普及とその向上を計った。

(詳細は分担研報告「薬剤耐性変異の解析法の開発・改良・技術研修に関する研究」杉浦互 参照)

C. 考察および結論

本研究班では①HIV 検査相談の機会の拡大に関する研究、②相談カウンセリングの質的充実に関する研究、③HIV 検査技術の質的向上に関する研究の 3 つの課題に取り組んできた。HIV 検査相談機会の拡大に関する研究課題に関しては、ここ数年、大阪府における急激な HIV 検査陽性献血者増加が問題となっており、その解決のためにも、利便性の高い HIV 検査相談施設の開設が望まれていた。このため、大阪検査相談・啓発・支援センター (chot CAST なんば) が開設されたため、当研究班としても、HIV 及び HBV 等の検査技術を中心にその技術支援を行った。様々な取り組みやキャンペーン等の効果もあり、大阪府内の公的機関での HIV 受検者数・陽性者数ともに年間でお

よそ 20% 増加した。しかしながら、HIV 陽性献血件数は 26 件と昨年と同じで、東京の 21 件を上回っていた。また、研究班で試験的に導入している NAT 検査において、大阪府内の民間クリニックでは、NAT 検査のみ陽性の感染初期例が 4 件見いだされるなど、感染の広がりが危惧される状況にあることも分かった。これらの結果から、利便性の高い HIV 検査相談体制の一層の充実が喫緊の課題であると言える。

全国保健所等アンケートから、即日検査や休日・夜間検査など利便性の高い検査相談が、全体の 70% の保健所等で実施され、保健所等における HIV 検査相談の受検者数・陽性者数が増加しつつあることが確認できた。また、当研究班の協力民間クリニックにおける HIV 検査の受検者数も年々増加しており、全国 25 ヶ所の協力民間クリニックでの平成 20 年の受検者数の合計は 16,387 件、陽性数 74 件に達しており、有料ではあるが HIV 検査体制の一翼を担う重要な役割を果たしている。

また、年々利用者が増加している郵送検査に関しても、平成 20 年には年間 50,672 件、スクリーニング検査陽性数は 234 件であった。その受検者数は保健所等の無料検査の受検者数 (17 万) のおよそ 30% に相当しており、今後とも継続的にその実態把握を行う必要があることが分かった。(図 51)

相談カウンセリングの質的充実に関する研究に関しては、本年度は、HIV 検査相談の相談担当者向けの実践基礎編のガイドラインの作成を行った。HIV 検査相談の質的充実の鍵となる検査相談担当者の人材育成のため、これらスライドや資料が有効に活用されるよう、今後とも継続した支援と評価が必要と思われる。

HIV 検査技術の質的向上に関する研究に関しては、アンプリコア HIV-1 モニターの発売中止に伴い、専用の高額機器の購入が困難な地方衛生研究所においては、従来の HIV-1

RNA の測定が不可能となるため、本年度は汎用のリアルタイム PCR 装置で測定可能な HIV-RNA の測定系の開発を最重要項目として取り組んだ。使用検体量も 0.5ml と少なく、汎用機期で測定可能なリアルタイム RT-PCR 法を開発し検討した結果、新たに販売されているコバス TagMan とほぼ同等な性能を有することが分かった。今後、技術講習を行い、全国の地方衛生研究所等への普及を計るとともに HIV-2 の測定法等についてもさらに検討して行くことが必要と思われる。

以上、本年度本研究班が重要課題として取り組んだ 3 分野において、それぞれ着実に成果を上げることができ、また、今後さらに改善し解決すべき課題も明確にできた。

<分担研究報告の一覧>

- ◆ ホームページ「HIV 検査・相談マップ」を用いた HIV 検査相談機関の情報提供とメディア等の広報効果のモニタリング (佐野(嶋) 貴子)
- ◆ HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査 (H20 年) (今井光信)
- ◆ 特設検査相談施設 (南新宿検査・相談室) の受検者における HIV と STD に関する研究 (小島弘敬)
- ◆ MSM を限定とした HIV/STD 検査場の結果報告 (星野慎二)
- ◆ HIV 検査機関における即日検査の実施状況およびその効果 (佐野(嶋) 貴子)
- ◆ 保健所等 HIV 検査機関における HIV-1 NAT スクリーニング検査の試験的導入 (佐野(嶋) 貴子)
- ◆ 一般病院での HIV 抗体検査の推進に関する研究 (立川夏夫)
- ◆ HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (須藤弘二)
- ◆ 献血者への働きかけによる HIV 検査機会の拡大 (平成 20 年度) (日野 学)
- ◆ 個人輸入 HIV 自己検査キットの保健衛生

の調査研究 (木村和子)

- ◆ HIV 検査とエイズの知識・偏見 ～北海道・市町村議会議員の調査から～ (玉城英彦)
- ◆ 検査相談 研修ガイドラインの作成と普及について 実践基礎編 (地域密着型の研修) の作成 (矢永由里子)
- ◆ NPO による HIV 検査相談体制と研修体制 (松浦基夫)
- ◆ 保健所における検査相談体制に関する研究 (中瀬克己)
- ◆ 北海道における HIV 即日検査について (長野秀樹)
- ◆ 東京都の HIV 検査体制と 2008 年検査結果の解析 (貞升健志)
- ◆ 愛知県における HIV 検査結果の解析 (皆川洋子)
- ◆ 大阪府における公的 HIV 検査の現状解析、STI 関連診療所における検査相談と疫学調査、献血における大阪と東京の陽性率に関する考察、大阪府内において HIV・AIDS 啓発キャンペーンの及ぼした影響 (川畑拓也)
- ◆ 福岡県における HIV 検査体制と検査結果の解析 (千々和勝己)
- ◆ 汎用リアルタイム PCR 装置を用いた HIV-1 RNA 定量法の開発 (加藤真吾)
- ◆ 薬剤耐性変異の解析法の開発・改良・技術研修に関する研究：薬剤耐性検査の実用化と衛生研究所等への技術移管 (杉浦 互)

<発表論文リスト>

1. Kondo M, Sudo K, Tanaka R, Sano T, Sagara H, Iwamuro S, Takebe Y, Imai M, Kato S. Quantitation of HIV-1 group M proviral DNA using TaqMan MGB real-time PCR. J. V. Meth., in press.
2. Tanuma J, Fujiwara M, Teruya K, Matsuo S, Yamanaka H, Gatanaga H, Tachikawa N, Kikuchi Y, Takiguchi M,